

金ヶ崎町のまちづくりに関するアンケート調査報告書

令和8年3月

金 ヶ 崎 町 商 工 会

I 調査概要

1 調査の目的

本アンケートは、今年度、当会が研究している「道の駅構想」を一つのきっかけとしながら、まち全体のにぎわい創出や、会員事業者の事業展開・連携の可能性を探ることを目的として実施した。

2 調査対象

金ケ崎町商工会会員

3 調査方法

アンケート調査票を郵送にて送付し、回答を記入後、FAX等にて返送、または、Webアンケートにて回答してもらう手法とした。

4 調査期間

令和8年1月26日（月）～令和8年2月27日（金）

5 回収状況

調査対象数	回収数	回収率
278	44（うち、Web30）	15.8%

6 調査の内容

- (1) 自身（自社）で関心のあるテーマ
- (2) 今後、まち全体で力を入れるべきだと思う取組み
- (3) 道の駅構想への関わり方
- (4) 自身（自社）が考える道の駅の必要性や構想で取り組んでみたいこと（自由記述）
- (5) 商工会に期待する支援
- (6) 今後の意見交換や取組みへの参加意向
- (7) 日々の事業活動の中で気づく地域課題や新たなサービス・イベント構想等
（自由記述）

II 調査結果（概要）

本調査の結果、会員の関心分野は「人材確保・後継者・次世代育成」「既存事業の磨き上げ」が多く、また、町全体で力を入れるべき取組みについては「若者・移住者の関与促進」が多く挙げられた。これらの結果から、「人（ひと）」分野における事業展開の重要性と既存事業の強化志向が示唆された。

道の駅構想については、活用意向を示す意見が多く寄せられた一方で、慎重な姿勢も見られ、段階的な関与の必要性が確認された。また、商工会に対しては、「補助金・支援制度の活用」や「行政との調整・提案」への期待が高く、道の駅の整備にあたっては、施設整備にとどまらず、地域資源を活かした商品開発や持続的な経営を支えるソフト面の強化が求められている。

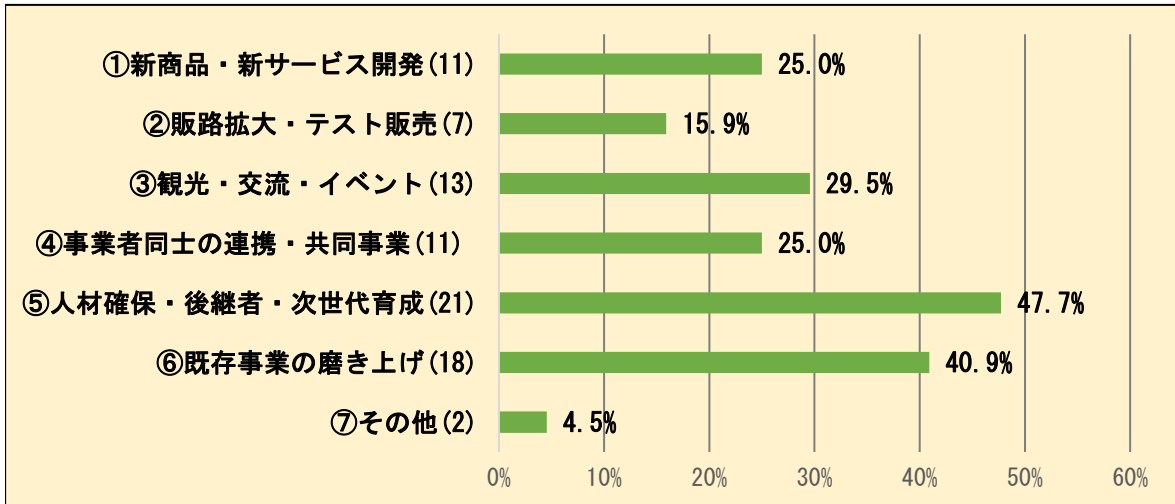
自由記述からは、今後のまちづくりにおいて、地域資源の特性を活かした取組みを基盤としつつ、観光・体験機能との組み合わせについて検討していくことが期待される。また、新たな施設整備に加え、既存施設の活用や事業者間の連携といった視点も含め、多様な手法を検討していくことが一つの方向性として考えられる。

Ⅲ 設問別の調査結果

問1 ご自身（自社）で関心のあるテーマを教えてください。（複数回答可）

《設問の意図》会員の関心分野を把握し、今後の重点支援分野を見極める

《結果》問1では、「人材確保・後継者・次世代育成」が21件（47.7%）で最も多く、次いで「既存事業の磨き上げ」18件（40.9%）、「観光・交流・イベント」13件（29.5%）、「新商品・新サービス開発」「事業者同士の連携・共同事業」各11件（25.0%）と続いている。このことから、人材の確保や後継者等次世代の育成に関する関心が高く、加えて、既存事業の強化志向が見られる。

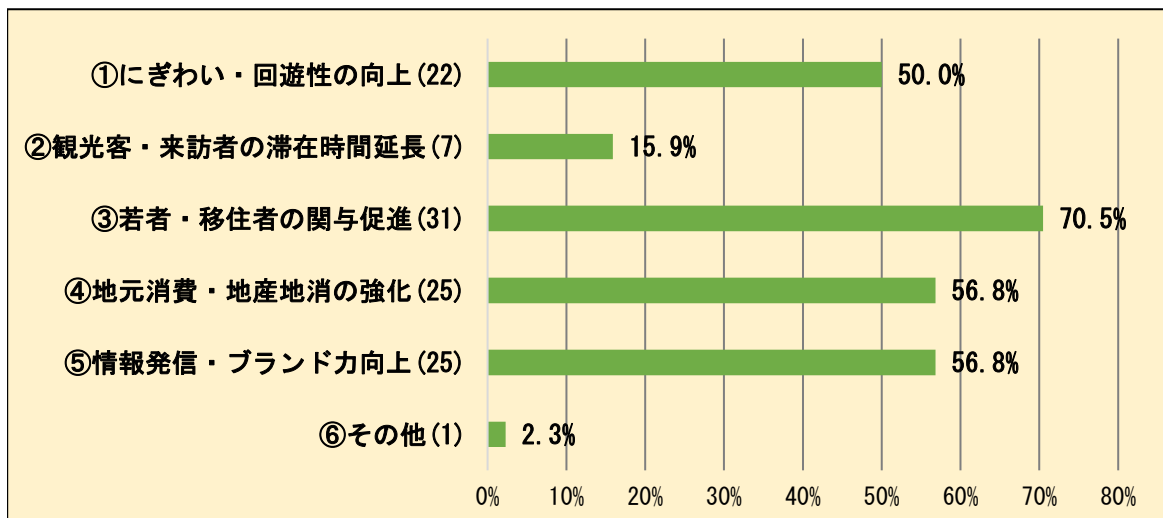


その他(2)：関心のあるテーマは無い(2)

問2 今後、まち全体で力を入れるべきだと思う取組みは何ですか。（複数回答可）

《設問の意図》事業者視点による地域課題と優先順位を把握する

《結果》問2では、「若者・移住者の関与促進」が31件（70.5%）で最も多く、次いで「地元消費・地産地消の強化」と「情報発信・ブランド力向上」が各25件（56.8%）、「にぎわい・回遊性の向上」が22件（50.0%）と続いている。このことから、地域の担い手確保や新たな人の流れの創出、地産地消や情報発信、ブランド力の向上が重要視されている。

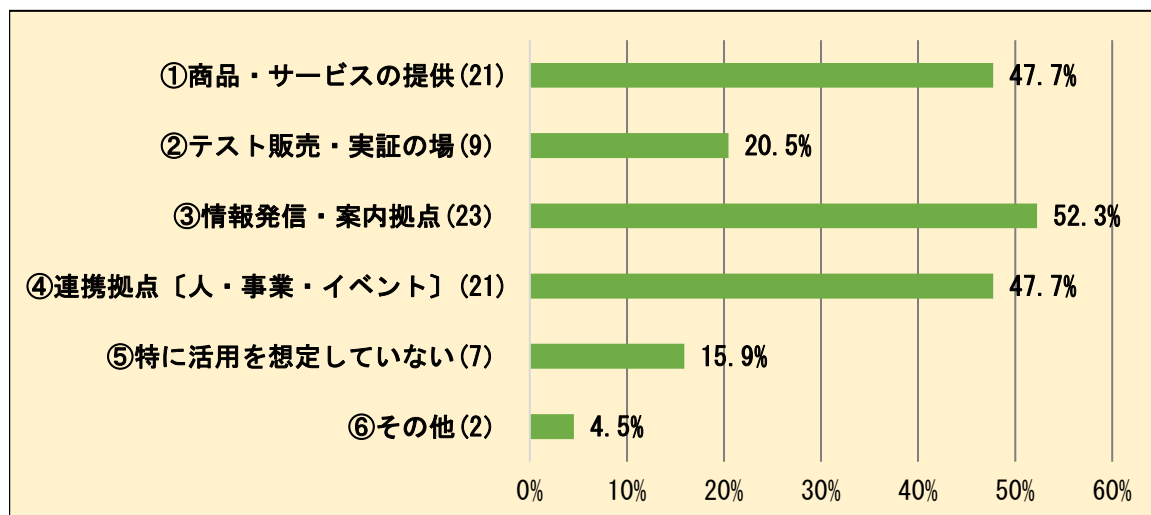


その他(1)：電気代など固定経費の削減

問3 道の駅構想について、どのような関わり方が考えられますか。(複数回答可)

《設問の意図》道の駅に関する関与意識と温度差を把握する

《結果》樋3では、「情報発信・案内拠点」が23件(52.3%)で最も多く、次いで「商品・サービスの提供」と「連携拠点(人・事業・イベント)」が各21件(47.7%)と続いている。このことから、情報発信や商品・サービスの提供、イベント等の拠点、一定の関心がある一方、関与に慎重な層も見られる。



その他(2)：県内道の駅に当社の取引先が有り。子どもが楽しめる空間や町内の才能を秘めた方々のスポット

問4 ご自身(自社)が道の駅構想で取り組んでみたいことがあれば教えてください。(自由記述)

《設問の意図》具体的な事業アイデアや現場発想を抽出する

《結果》自由記述の31件を分類すると、以下の傾向が見られた。

項目	回答数	割合
地域資源(農産物や自然)活用	10	32.3%
観光や体験機能の充実	8	25.8%
既存施設の活用と連携	6	19.3%
地域課題の指摘(供給や規模等)	4	12.9%
その他	3	9.7%

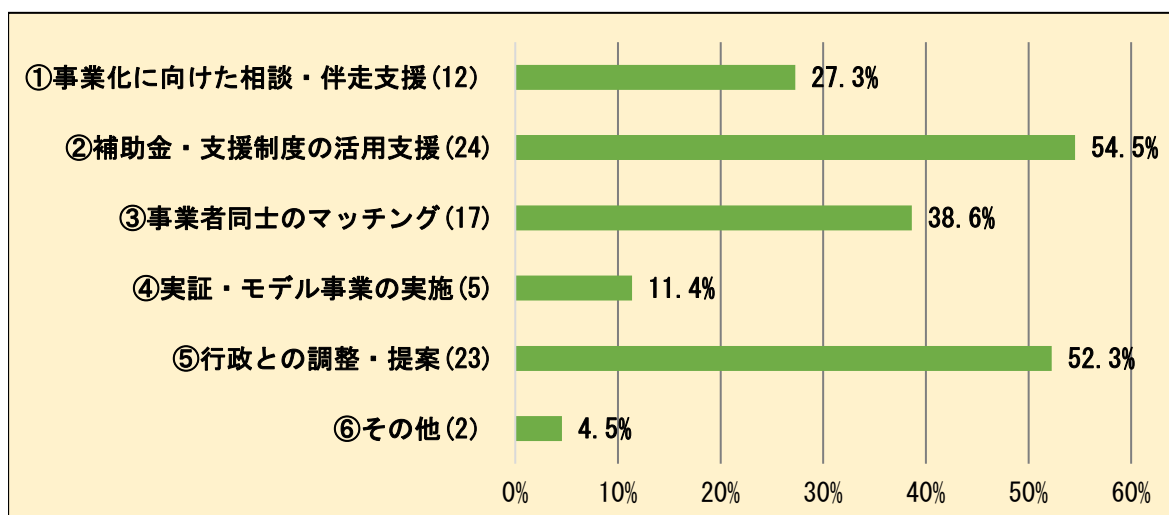
最も多かった「地域資源活用」10件(32.3%)に関する意見では、農産物や地域特性を活かした商品や土産品づくりと販売に対する関心が高いことがうかがえる。次いで、「観光・体験機能」8件(25.8%)に関する意見も多く、単なる販売拠点ではなく、家族連れや来訪者が滞在・体験できる機能へのニーズが一定程度存在している。また、「既存施設の活用」6件(19.3%)に関する意見も見られ、新規整備に限らず、既存資源を活かした柔軟な発想が求められている。さらに、「地域課題の指摘」4件(12.9%)として、農産物の供給量や通年販売の難しさなど、現実的な制約条件に関する意見も確認された。

なお、自由記載の全文は、6ページに掲載。

問5 商工会に期待する支援があれば教えてください。(複数回答可)

《設問の意図》商工会に求められる役割と支援ニーズを把握する

《結果》問5では、「補助金・支援制度の活用支援」が21件(54.5%)で最も多く、次いで「行政との調整・提案」が23件(52.3%)、「事業者同士のマッチング」が17件(38.6%)と続いている。このことから、補助金や支援制度といった実務的な支援、加えて、関係機関との連携への期待高く、伴走支援体制を強化する必要がある。

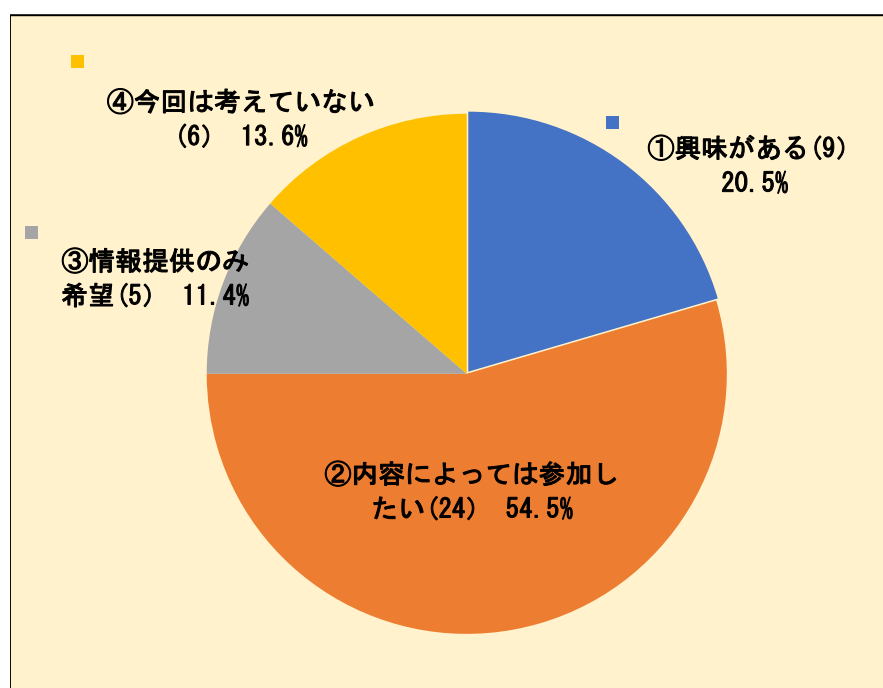


その他(2)：事業資金の貸付。若年層経営者や幹部の育成。

問6 今後の意見交換や取組みへの参加意向を教えてください。

《設問の意図》今後の取組みへの関与意欲を把握する

《結果》問5では、「内容によっては参加したい」が24件(54.5%)で最も多く、次いで「興味がある」が9件(20.5%)で、関心のある層が33件(75.0%)と4分の3を占めた。「今回は考えていない」が6件(13.6%)、「情報提供のみ希望」が5件(11.4%)となっている。今回、回答を寄せた方々は、母数は少ないが潜在的な関心層が多く、今後は、小規模な取組みからの展開が有効と思われる。



問7 日々の事業活動の中で気づく地域課題や新たなサービス・イベント構想など自由な発想で記述してください。 (自由記述)

≪設問の意図≫ 商工会に求められる役割と支援ニーズを把握する

≪結果≫ 問7では、会員が日々の事業活動の中で感じている地域課題や、今後の地域づくりにつながる新たなサービス・イベントの構想などについて、自由な発想で記述いただいた。現場に根ざした率直な声や将来を見据えた前向きな提案が数多く寄せられており、以下に、全16項目を順不同で掲載する。

問7・自由記述

1	地元のまつりが衰退しているように思う。大企業のある町なので力を借り、ラリーカーの展示やデモ走行を併催したり、企業協賛下で若者向けの音楽イベントをするのも良いと思う。秋田のTDK展示館のような集客できる施設が町内に欲しいと思う。
2	金ケ崎に一番あるのが自然とスペース。特に箱物はいらないので、そのままくつろげるスペースがあれば、気軽に立ち寄れる場所になるのでは。ただし、インフラ、トイレ、駐車場等の整備は必要、気の利いた不便のない所で。
3	金ケ崎町は農業の町だが対外的にアピールできていないので、道の駅を活用してもっとアピール出来たら良いと思う。
4	若者も参加出来る金ケ崎独自の企画。若者も企画に参加できる体制を作って欲しい。
5	金ケ崎駅の施設、勿体無いと思います。六原駅のように、他に使えるのではないのでしょうか。お祭り春夏秋冬とまではいかないですがもう少しあっても良いかと思います。
6	独自の祭りなどあれば 集客見込めるかと思います。
7	金ケ崎の農産物、廃棄してるような食材、困っている材料等あれば、紹介して頂きたい。
8	行政との連携をもっと密に行って、似たような事業をそれぞれで実施してそれぞれで費用をかけるのではなく、一つの町として取り組むような体制を作っていたらと思う。
9	菓子でなくても良いので町のお土産が欲しい。
10	今の政治と同じで変化に拒否反応を示す、または無関心な人が多い。高齢化の影響もあり、その結果が商店街のシャッター通り化。地元の活性化のために固定経費を無償で削減しますので、そこで得られた原資で新しい事業に投資するための議論をするべきである。
11	美容と食などをドッキングさせたイベント
12	町のイベントが減少したが町に頼らないイベントが町内で開催されてとても良いと思う。後はそれらのイベントの告知強化があれば良い。まだ各イベントの認知度は低いと思う。
13	昔みたいに町を上げてイベント実施。4号線拡大に伴う変化。
14	夜間の道が暗い。
15	イベントには積極的に参加させて頂きたいと思います。
16	ホテルルートイン誘致に伴う町内の「食」環境の充実

問4・自由記述

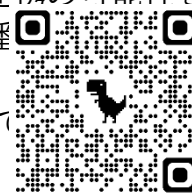
1	循環型農業により栽培された作物を前面に出した販売。
2	4号線沿いで駐車場が広い事、金ヶ崎独自の物で、果物、工芸品、野菜など揃える。
3	国道沿い、ソフトクリーム、新鮮な野菜。金ヶ崎の歴史ボード。
4	他にはない商品、採れたて野菜、採れたて牛乳の乳製品など。
5	規模はある程度大きくないと魅力を感じない。販売するものは近郊の物で、幅広い商品アイテムが欲しい。例えばそこに行くだけでスーパー等にはあまり行かずに済むような。
6	お土産品の開発と販売。
7	町外からのお客さんに町のお土産を勧めれるところ。町の魅力を発信できる場所。
8	4号線を走っていてわざわざ道の駅に立ち寄りたいたいと思ってもらえるような魅力的な商品や料理を提供する必要がある。
9	国道沿いで町の産業の集約。
10	岩手名物拡大。
11	自然を活かし家族が来て子供が遊びゆったりでき、夏は水場、冬は雪を使ったそりができる道の駅。また、屋台とかでの販売ができる道の駅。
12	国道4号事業に関わる今がチャンス時期と思う。国道沿、平泉と石鳥谷の中間で良い。子供の遊び場に重点を置いても金ヶ崎の目玉事業になるのでは。伝建への誘致にも。
13	道の駅は、胆沢川と鳥海の柵間の下庄地区の田に作る。東北道水沢IC近くでETCを使って下車可能で、工業団地へのトラックの休息や金ヶ崎の史跡の案内所的な役割が欲しい。
14	道の駅が町内にあれば農産品や飲食店など出店でき県外の方などが来て賑わうと思う。4号線から上下関係なく進入でき駐車台数も20台以上で鳥海柵跡のような場所が良いと思うが…
15	北と南を繋ぐことを考えて、場所的には中心として国道沿いがベストかと。喫茶、レストラン。子どもも楽しめる空間。
16	国道沿いが理想だが最低でも国道から見える場所が必要。例えば仙台のコストコ。「あら伊達な～」の道の駅の様「ロイズ」の常設販売。
17	高速道路休憩所兼下からも行く事が出来て、十分な駐車場と、飲食店がたくさんある事。
18	入り易い国道沿いが良い。色々な方が足を運べるような雰囲気作り。
19	ハード面にこだわることなく、既存の大型店舗（イオン、アークス、中古車店、パチンコ店、老人ホーム）敷地で定期的な「市」を行い、出店する側もされる側もメリットあるような素地を作れば良いと思う。建物やハード面から入ると失敗しやすいと思う。ソフト面から入るほうがはるかに費用対効果が良いと考える。
20	地域情報の発信、ブランディングのための産業の垣根を超えた協業を企画する。プル型だけでなくプッシュ型（外に出ていく）道の駅企画等。県外・海外からの集客のための情報発信。体験・物販、地元地域向けの高齢者等のサービス。若者向けイベント。
21	企業紹介など出来る電子掲示板など
22	場所はみどりの郷跡地などは。スケートリンクや駐車場もあり温泉も出る。足湯なども手軽に楽しめたらよい。ゼロから作るよりも今あるものを有効活用した方がいまだき。スケート
23	学童保育や子ども食堂、親子で遊ぶ施設のコラボ。
24	各種イベント開催と連携して地域経済の活性化に助勢すること。
25	金ヶ崎町は農産物が少なく農業規模も小さいので1年365日販売する確保が難しい。また、沿岸との距離もあり、海産物の確保も難しいと考える。よって、道の駅は難しいと考える。
26	利便性、老若男女受けするデザイン性、発信の仕方を考える。
27	魅力的かどうか。道の駅として全国でも有名になったら、それに伴う町としての魅力、経済的効果は計り知れない。
28	国道沿いで、金ヶ崎の町の魅力発信出来る施設。
29	県道沿い。
30	場所は、旧町内に近い国道沿い（近く）
31	国道沿いが良い。

金ケ崎町のまちづくりに関するアンケート

本アンケートは、今年度、当会が研究している「道の駅構想」を一つのきっかけとしながら、まち全体のにぎわい創出や、会員事業者の事業展開・連携の可能性を探るために実施するものです。ご多忙中誠に恐縮ですが、該当する番号、または、記入をお願いします。

なお、回答は、QRコードを使ったWebアンケート及びFAX等で2月27日（金）までをお願いいたします。

金ケ崎町商工会（TEL:0197-42-2710 FAX:0197-42-2713）



Webアンケートはコチラ

Q1. 現在、ご自身（自社）で関心のあるテーマを教えてください。（複数回答可）

- 1 新商品・新サービス開発
- 2 販路拡大・テスト販売
- 3 観光・交流・イベント
- 4 事業者同士の連携・共同事業
- 5 人材確保・後継者・次世代育成
- 6 既存事業の磨き上げ
- 7 その他（ ）

Q2. 今後、まち全体で力を入れるべきだと思う取組みは何ですか。（複数回答可）

- 1 にぎわい・回遊性の向上
- 2 観光客・来訪者の滞在時間延長
- 3 若者・移住者の関与促進
- 4 地元消費・地産地消の強化
- 5 情報発信・ブランド力向上
- 6 その他（ ）

Q3. 道の駅構想について、どのような関わり方が考えられますか。（複数回答可）

- 1 商品・サービスの提供
- 2 テスト販売・実証の場
- 3 情報発信・案内拠点
- 4 連携拠点（人・事業・イベント）
- 5 特に活用を想定していない
- 6 その他（ ）

Q 4. ご自身（自社）が考える道の駅の必要性や構想で取り組んでみたいことがあれば教えてください。（場所・例えば国道沿い、広さ、必要な機能、販売品等々）
（自由記述）

Q 5. 商工会に期待する支援があれば教えてください。（複数回答可）

- 1 事業化に向けた相談・伴走支援
- 2 補助金・支援制度の活用支援
- 3 事業者同士のマッチング
- 4 実証・モデル事業の実施
- 5 行政との調整・提案
- 6 その他（ _____ ）

Q 6. 今後の意見交換や取組みへの参加意向を教えてください。

- 1 興味がある
- 2 内容によっては参加したい
- 3 情報提供のみ希望
- 4 今回は考えていない

Q 7. 日々の事業活動の中で気づく地域課題や新たなサービス・イベント構想など自由な発想で記述してください。（自由記述）

【ご記入者情報】（差し支えなければご記入ください）

事業所名： _____

担当者名： _____

ご協力ありがとうございました。